

～小中高生の卒業式に関する意識調査～

今年一番歌われる卒業式ソングとは？

「卒業」に対する感情は、卒業生・在校生とも「ポジティブ」!

eラーニング教材「すらら」を展開する株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦)では、「小中高生の卒業式に関する意識調査」を小学4年生から高校3年生までの男女に実施しました。

- 1)今年一番歌われる卒業式ソングは「旅立ちの日に」!
- 2)「卒業」に対する想い、卒業生・在校生ともポジティブ!
- 3)担任の先生には「感謝の気持ち」!
- 4)卒業式で印象深いのは「先生の言葉」より「先生の涙」!
- 5)卒業式の告白、今も主流は「第二ボタン」!

1)今年一番歌われる卒業式ソングは「旅立ちの日に」!

今年の卒業式で歌う歌を聞いたところ、総合では「旅立ちの日に(埼玉県秩父市立影森中学校教員)」が1位となり、次いで「3月9日(レミオロメン)」、「旅立ちの日に・・・(川嶋あい)」となりました。卒業生・在校生問わず、「旅立ちの日に(影森中学校教員)」がダントツで人気です。一方、昔の定番とも言える「揚げば尊し」や「蛍の光」等は歌う学校はあるようですが、ランキングに入ってくることはなく、「レミオロメン」や「いきものがかり」など旅立ちや感謝、応援の気持ちをストレートに表現しているJ-POPが好んで歌われているようです。

卒業生が歌う「卒業式ソング」、および、在校生が歌う「卒業式ソング」のランキングについては、下記をご覧ください。

■結果:今年歌われる「卒業式ソング」ランキング

順位	曲名	%
1	旅立ちの日に(影森中学校教員)	19.5%
2	3月9日(レミオロメン)	9.1%
3	旅立ちの日に・・・(川嶋あい)	7.6%
4	栄光の架橋(ゆず)	5.6%
5	ありがとう(いきものがかり)	4.6%

■結果:「あなたの学校で、今年の卒業式で校歌や国歌以外で、卒業生が歌う歌・在校生が歌う歌は何ですか。」の回答(単数回答)

【卒業生が歌う「卒業式ソング」】

順位	曲名
1	旅立ちの日に(影森中学校教員)
2	旅立ちの日に・・・(川嶋あい)
3	3月9日(レミオロメン)
4	栄光の架橋(ゆず)
5	道(EXILE)

【在校生が歌う「卒業式ソング」】

順位	曲名
1	旅立ちの日に(影森中学校教員)
2	3月9日(レミオロメン)
3	YELL(いきものがかり)
3	ありがとう(いきものがかり)
5	栄光の架橋(ゆず)

※本リリースの調査結果をご利用頂く際は、「すららネット調べ」とご明記下さい。

NEWS RELEASE

2)「卒業」に対する想い、卒業生・在校生ともポジティブ！

「卒業する時の感情で、次のうち近いものは何ですか(何だと思えますか)。」との問いでは、ポジティブな感情(嬉しい、すっきり、めでたい、期待感、幸せだ)が 60.1%と強い傾向であり、立場別においても、卒業生 60.8%、在校生 59.6%と、卒業生・在校生ともポジティブな感情の方が強い結果となりました。

回答項目を詳細に見ていくと、一番多かったのが「嬉しい」(45.5%)で、次いで「淋しい」(42.6%)、「すっきり」(32.0%)という結果となりました。卒業生・在校生別では、卒業生で一番多かった回答が「嬉しい」(52.1%)であったのに対し、在校生のほうは「淋しい」(42.7%)といったネガティブな回答が上位となりました。

未来に対する不安感よりも、卒業に対する嬉しさや現状からの解放感、将来への期待感のほうが全体的に高く、いざ卒業するという立場になってもその傾向は変わらず、楽観的な前向きさが見受けられます。

■結果:「卒業する時の感情で、次のうち近いものは何ですか(何だと思えますか)。3つまで選んでください。」の回答(複数回答)

【総合】			【卒業生】			【在校生】		
順位	感情	%	順位	感情	%	順位	感情	%
1	嬉しい	45.5%	1	嬉しい	52.1%	1	淋しい	42.7%
2	淋しい	42.6%	2	淋しい	42.6%	2	嬉しい	41.3%
3	すっきり	32.0%	3	すっきり	30.9%	3	すっきり	32.7%
4	悲しい	28.3%	3	期待感	30.9%	4	めでたい	30.7%
5	めでたい	27.5%	5	悲しい	24.5%	4	悲しい	30.7%
6	期待感	26.2%	6	不安	23.4%	6	期待感	23.3%
7	幸せだ	21.3%	7	めでたい	22.3%	7	幸せだ	22.7%
8	不安	18.9%	8	幸せだ	19.1%	8	不安	16.0%
9	嫌だ	8.2%	9	嫌だ	6.4%	9	嫌だ	9.3%
10	憂鬱	3.3%	10	憂鬱	3.2%	10	憂鬱	3.3%

3)担任の先生には「感謝の気持ち」!

卒業する時、感謝の言葉を贈りたいのは「担任の先生」と「友達」が 53.3%でともに一番多く、次いで、「親」(51.2%)といった結果となりました。また、不平・不満をぶつけたいのは誰かとの問いでは、「いない」が 40.6%で一番多いものの、次いで「担任の先生」(27.0%)、「友達」(19.7%)となり、「担任の先生」は、感謝の対象とも不平・不満の対象ともなっているようですが、今回の結果から、最近の子どもたちは「感謝」のポジティブな気持ちを、より強く持っていることが分かりました。

■結果:「自分が卒業する時、感謝の言葉を贈りたいのは誰ですか。」の回答 (複数回答)

順位	感謝の言葉を贈りたい対象	%
1	担任の先生	53.3%
1	友達	53.3%
3	親	51.2%
4	部活の顧問の先生	35.2%
5	担任・顧問以外の先生	16.8%
5	祖父母	16.8%
7	いない	6.1%
8	その他	3.7%

■結果:「自分が卒業する時、それまでの不平・不満をぶつけたいのは誰ですか。」の回答 (複数回答)

順位	不平・不満をぶつけたい対象	%
1	いない	40.6%
2	担任の先生	27.0%
3	友達	19.7%
4	親	14.8%
5	部活の顧問の先生	13.1%
6	担任・顧問以外の先生	9.4%
7	その他	4.9%
8	祖父母	1.2%

NEWS RELEASE

4) 卒業式で印象深いのは「先生の言葉」より「先生の涙」!

これまでの卒業式で一番印象深かったことは何かを聞いたところ、「先生の涙」が 15.6%で一番多く、次いで「友人の涙」(10.7%)、「先生の言葉」(9.0%)という結果となりました。また、具体的にどんなことが印象に残っているかを聞いたところ、“泣いたところを見たことのない先生の涙”と言う声が多く、泣きそうにない先生が思わずこぼしてしまった意外な「涙」は、先生が一生懸命頭で考えた「言葉」より強く印象に残るようです。その他、“生徒が倒れた”、“生徒がおもらした”、といった学校の式典における定番ハプニングの他、“卒業証書授与の際、肝心の卒業証書が校長先生の手元になく、卒業式が約 10 分間中断した”や“合唱台が崩れた”など、先生も真っ青といった回答がありました。

■結果:「これまでの卒業式で一番印象深かったことは何ですか。」の回答 (単数回答)

順位	印象深かったこと	%
1	先生の涙	15.6%
2	友人の涙	10.7%
3	先生の言葉	9.0%
4	ハプニング	8.2%
4	友人の言葉	8.2%

5) 卒業式の告白、今も主流は「第二ボタン」!

「卒業式の主流な告白の仕方」については、一番多かった回答は「第二ボタンを男子から女子へ渡す」が 43.9%でトップとなりました。今も昔も変わらず、卒業式の告白と言えば「第二ボタン」のようです。

■結果:「卒業式の告白をするとしたら、次のうち、どれが主流ですか。」の回答(単数回答)

順位	告白の手段	%
1	第二ボタンを男子から女子へ渡す	43.9%
2	男女間での校章・ネクタイ・名札の交換	13.9%
3	校章・ネクタイ・名札を男子から女子へ渡す	6.6%
4	言葉で伝えるだけ	5.3%
5	校章・ネクタイ・名札を女子から男子へ渡す	4.5%
-	その他	12.7%
-	無回答	13.1%

<調査概要>

- 1) 調査名 :「小中高生の卒業式に関する意識調査」
- 2) 調査方法 :eラーニング教材「すらら」のログイン画面にて回答を得た
- 3) 調査対象 :小学4年生から高校3年生までの男女
- 4) 調査期間 :2012年2月3日~2月28日
- 5) 有効回答数:244名<男性:59.8%・女性:40.2%、小学4~6年生:11.1%・中学生:74.6%・高校生:14.3%>

NEWS RELEASE

■eラーニング対話型アニメーション教材「すらら」とは

- 【学習範囲】 中学1年生～高校3年生までの学習指導要領に準拠
- 【対応教科】 英語・数学・国語
- 【ユーザー数】 20,000名（2012年1月末現在）
- 【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

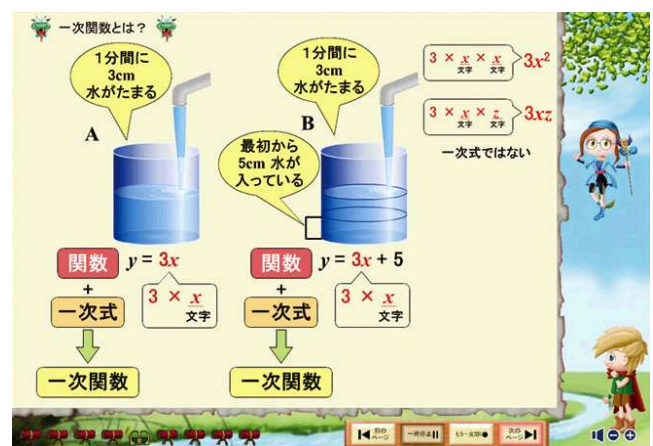
○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、eラーニングだからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■ 株式会社すららネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：6,285万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：eラーニングによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>